

経営比較分析表（令和4年度決算）

岐阜県大垣市 大垣市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	28	対象	ド透I未訓ガ	救臨が感災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
159,280	79,046	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 ガ…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
771	-	40
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	6	817
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
744	-	744

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

西濃医療圏域の中核的基幹病院として、高度で専門的な医療施設や医師・歯科医師臨床研修病院の環境を整備しており、西濃医療圏内唯一の救命救急センターでは、24時間体制で一次から三次までの救急医療を実施するとともに、地域がん診療連携拠点病院をはじめ、地域災害拠点病院、岐阜県地域周産期母子医療センター、小児救急医療拠点病院等の指定・認定を受け、質の高い医療を提供しています。
今後も圏域において、高度医療及び急性期医療の中心的役割を果たしてまいります。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続き、医療収支比率・修正医療収支比率共に低下したものの、補助金収入もあり、100%を上回っており、黒字経営を維持しています。
入院は平均在院日数の短縮と新入院患者の増加を目標に取り組み、外来では化学療法の施行増等もあり、患者1人1日当たり収益は増加しております。
今後もDPC制度を正しく理解・運用することで、診療行為に見合った診療報酬請求に努め、収入増加・確保を図るとともに、業務の効率化や委託業務の見直しを実施し、経費削減に努めます。

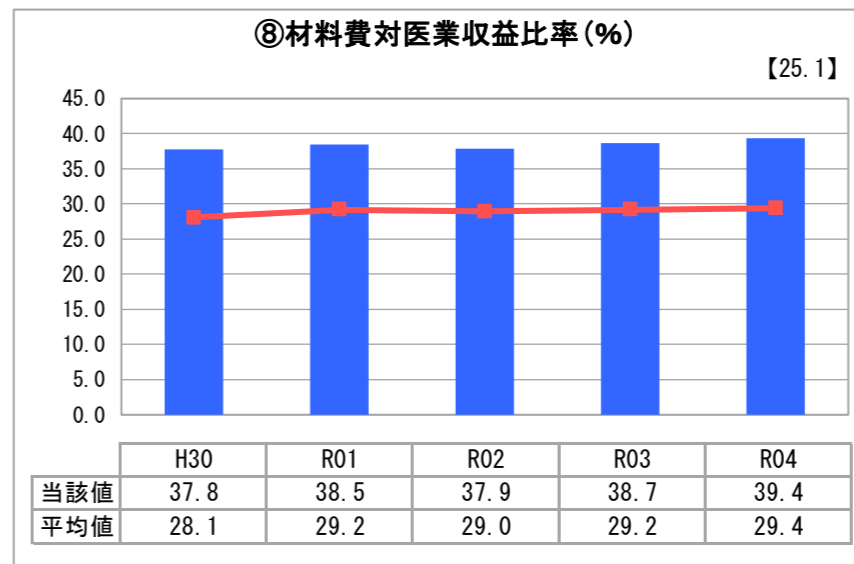
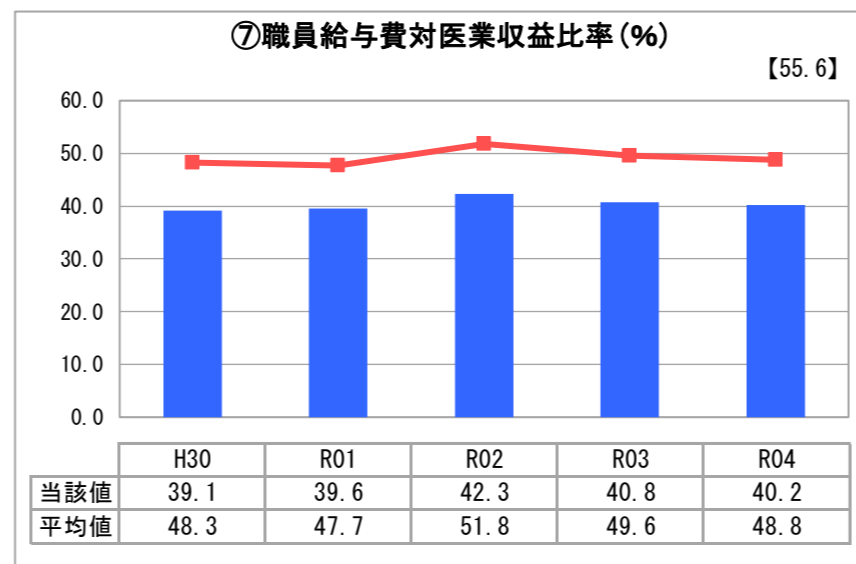
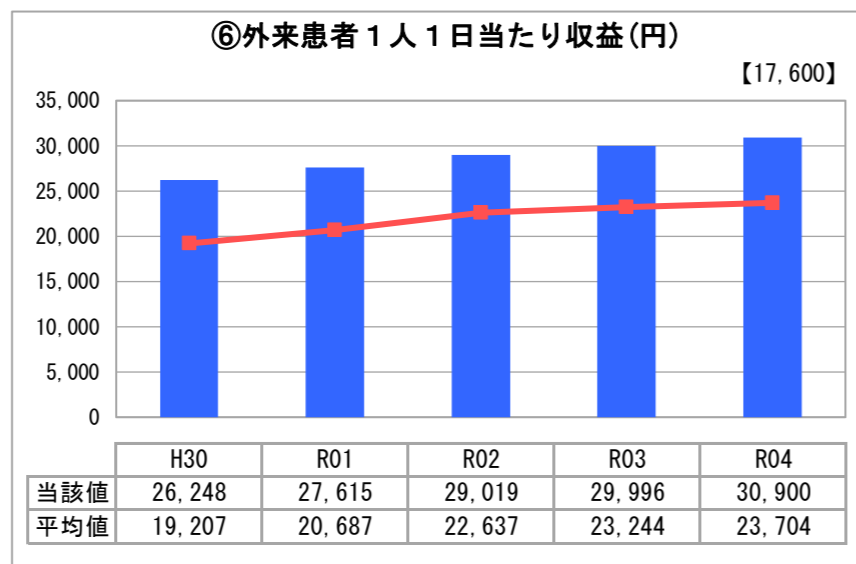
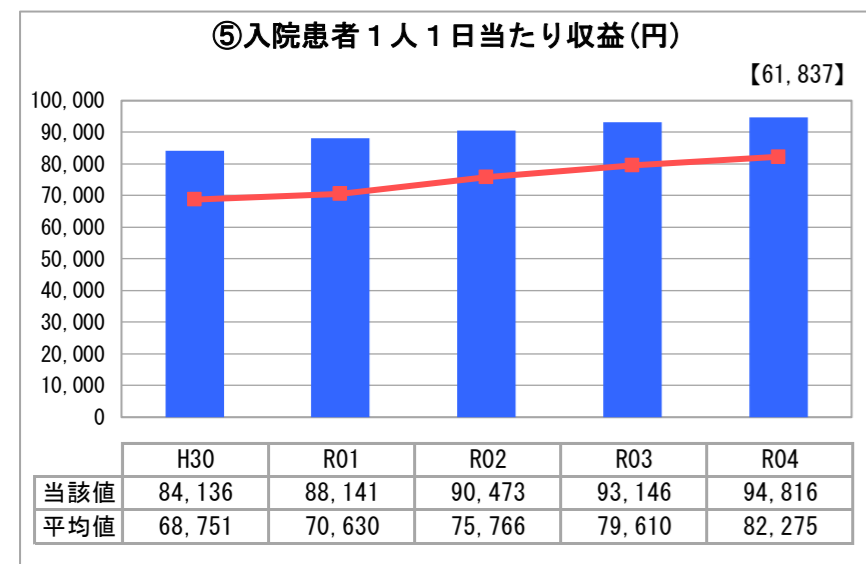
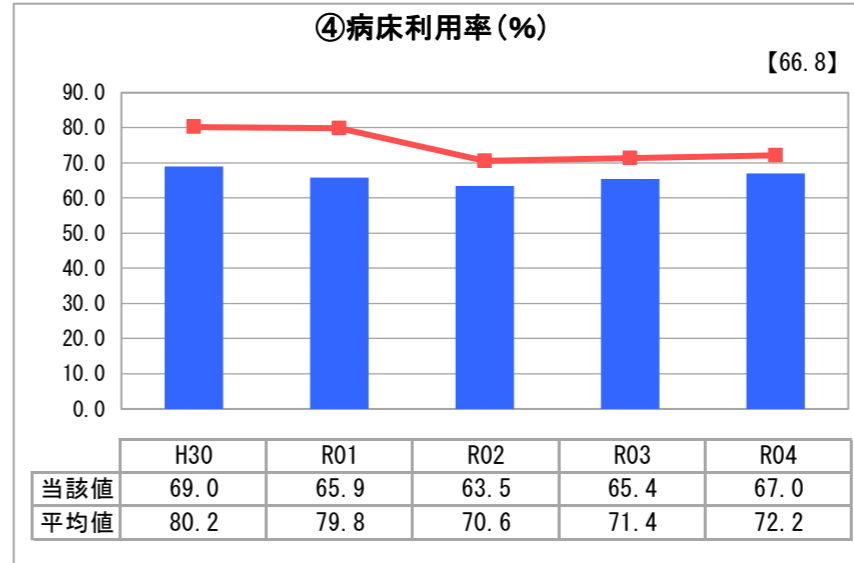
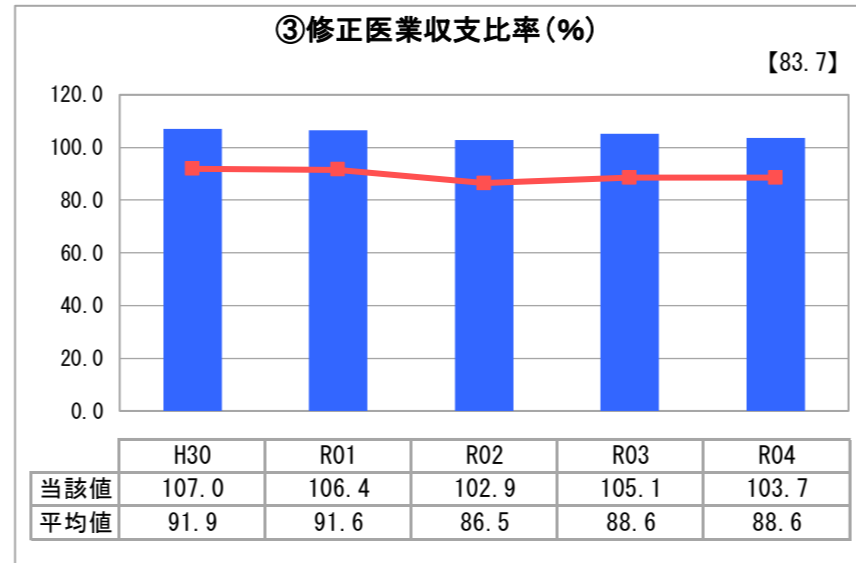
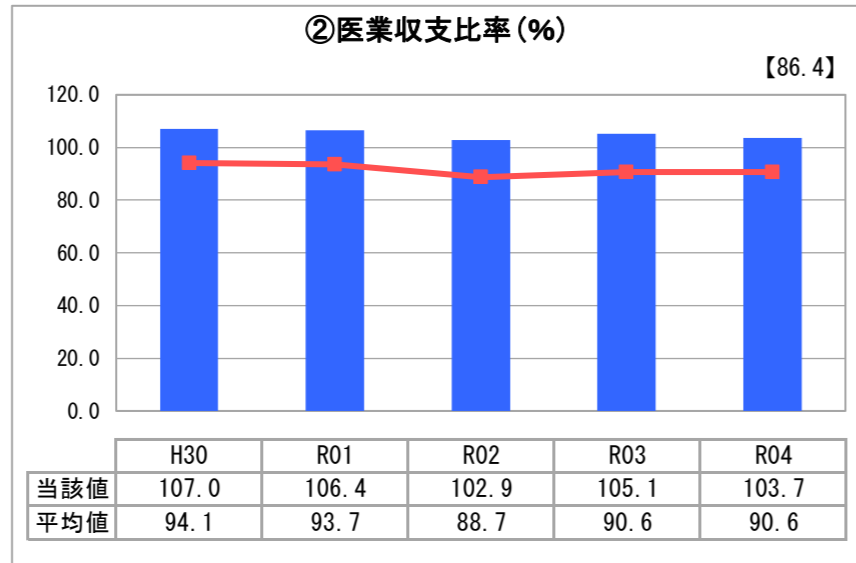
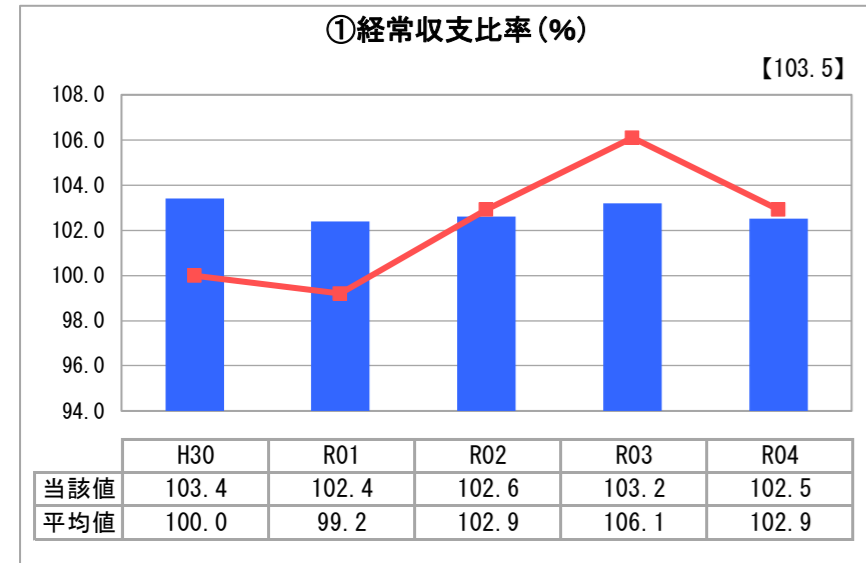
2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率ともに平均値を上回っており、老朽化が課題となっています。
今後施設全体の整備を見据え、大垣市民病院施設整備計画に基づき、まずはエネルギーセンター棟建設に向け、設計業務を開始しました。
高度医療機器の導入等についても、費用対効果を見極めながら、計画的に推進していきます。

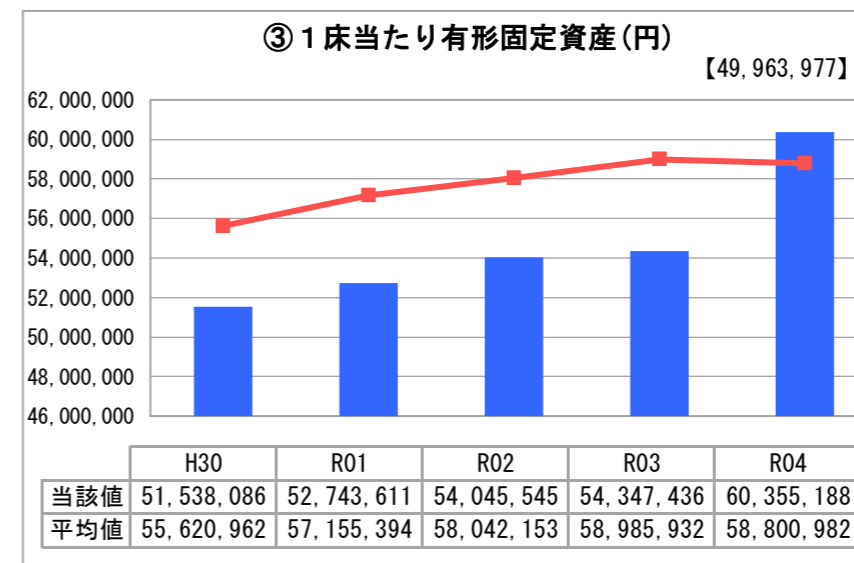
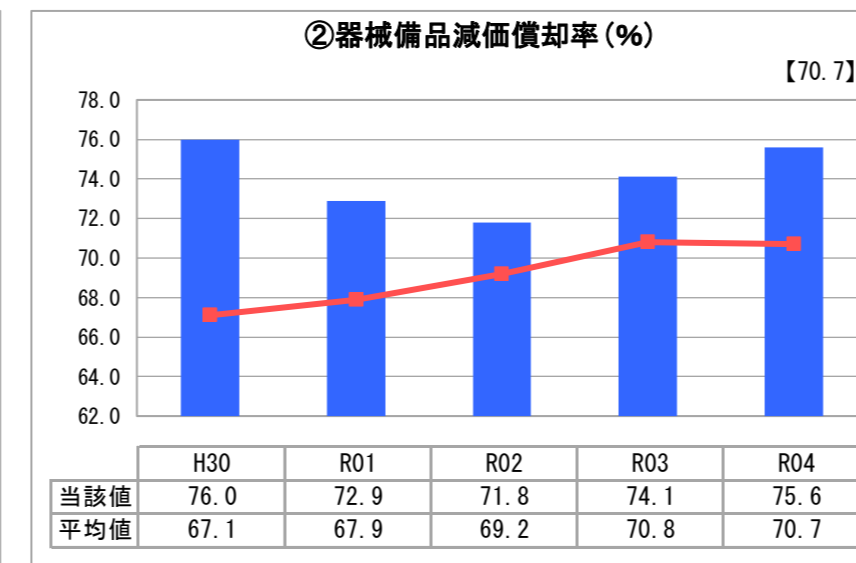
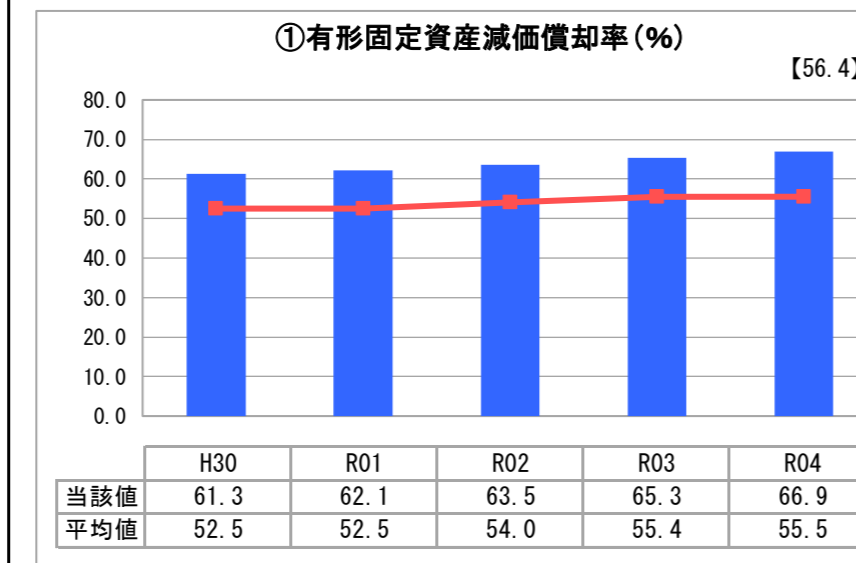
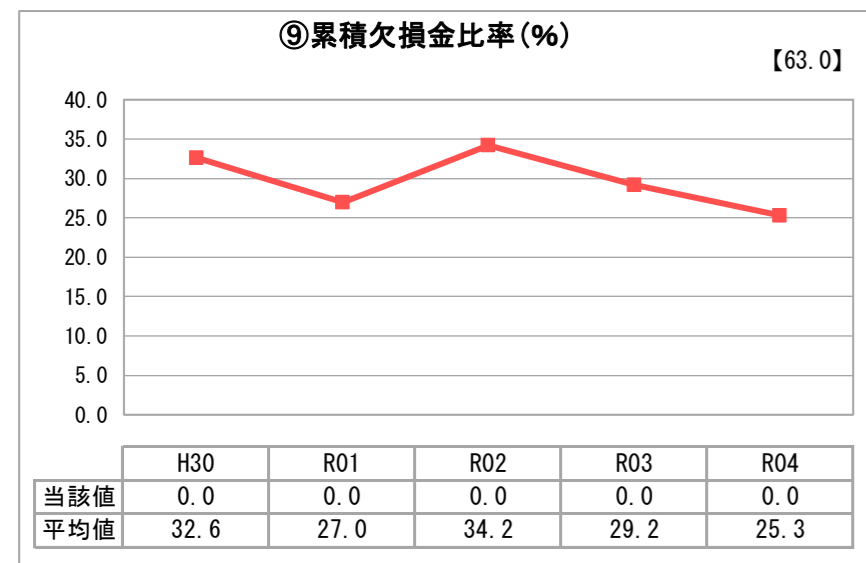
全体総括

現在の経営状態は安定しており、病院の事業規模については、地域住民に求められる医療機能を維持するため、現況の体制維持に努めます。
また、令和4年3月に策定した「大垣市民病院改革プラン」（計画期間：令和4年度）に基づき、引き続き専門的かつ安心して安全な医療を提供するとともに、公共性と経済性を両立し、健全な病院経営に努めます。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。